



人材のオーバーホールが必要である！！

業績が悪化してきたり、赤字が出たりして何も感じない従業員など一人もいないと思う。「これではいけない。何とかしよう」という気持ちは誰もがもっているはずである。ところが、まだやってもいないうちに、「それは無理だよ」「今までやったことがない」「きっとうまくいかないと思う」というネガティブな言葉で遮ってしまう。こうなるとやる気のある従業員ほど無力感を感じて腐ってしまう。まったく、会社にとっては大きな痛手である。

人間には5つのタイプがある

- ①自燃性のある人。
いつもやる気満々でモチベーションが高い人である。自分で燃えて行動できる人である。
- ②他燃性のある人
他人から刺激を受けるとやる気になる人である。他人から火をつけられると燃えることができる人である。
- ③選燃性のある人
時と場合によってはやる気が出てくる人である。ボーナスとか考課があるとか、何かエンジンがあると燃えることができる人である。
- ④不燃性の人
いつもネガティブな人である。やる気がなく無力感でいっぱいの人であり、気力を削がれる。
- ⑤消燃性の人
せっかく人がやる気になっているのに、水を掛けて回る人である。燃えている人の火を消して回る人だから性質が悪い。

最悪なのが⑤である。特に地位・職位の高い人にこういうタイプの間がある人と、その会社は最悪である。いずれ、業績は低落傾向になっていくであろう。

リーダーになるかならないかは別にして、誰もが主役になりたいという気持ちは持っている。中心的存在になりたいと人は考えているものである。

逆に言うと、脇役でいる限り人は本気にはならない。やる気にもならない。

では、どうすれば主役を感じられるかといえば、自ら考えさせ、取り組ませ、そして評価していくことである。忘れてはいけないことは、この間、常に注目するということだ。関心を持たれば、人間はやる気を維持していくことができるからだ！！

——以上